

今回はロックガーデンをご紹介します



ロックガーデンは、高温多湿に弱い高山植物や山野草などを栽培する特殊な花壇様式で、イギリスのガーデンなどではよく見られます。排水を良好にし、石の間に植栽ポケットをつくり、植物の根が石により冷やされることにより、暑い夏を過ごせるようにしています。

高山帯や寒冷地の植物には美しく観賞価値が高いものがありますが、関西のような梅雨や猛暑の地域では栽培が困難です。

写真のロックガーデンはキャンパスのカラーガーデンエリアに、2018年4月に造成したものです。淡路産の瓦を下に敷き詰め、その上に山野草用の排水の良い用土をのせ、長雨などによる泥はねや多湿を防止しています。(写真右)

種々の植物を植栽し、夏越しや冬越しの状況を観察し、栽培の可能性を模索しています。また、矮性の宿根草や小低木、球根植物などの効果的な観賞花壇としても有効な手段です。傾斜のある家庭の庭などでも少しのスペースで楽しめる提案をしています。

植物を栽培することが目的ですから、枯山水などと違って、石は観賞するものではありませんので特別な決まりはありません。植物を植えるスペースを作りながら、自然風に、単調にならないようにします。地面に深めに埋め込み、動かないように設置します。石は、色や模様がついた派手な物は避け、1か所ではなるべく同じ産地のものを使います。河原の石のような丸いものではなく、割れ石のような角のあるものを使います。

このロックガーデンにある植物を一部ご紹介します。写真に名前と学名だけ記載しますので、興味のある方は実物を見て、検索などで調べてみてください。



淡路産の瓦のハネ品を敷き詰めています



瓦の上に用土を入れます



植栽ポケットを作りながら石を配置

ミヤマオダマキ

Aquilegia flabellata var. *pumila*



カナダオダマキ

Aquilegia canadensis



ヒナソウ(トキワナズナ)

Houstonia caerulea



**シレネ・ユニフローラ
‘ドレツツバリエガータ’**

Silene uniflora
‘Druett’s Variegated’



エロディウム・ペラルゴニフローラム

Erodium pelargoniflorum



タイム・ロンギカリウス

Thymus longicaulis



ヒメアツツザクラ

Rhodohypoxis × *hybrida*



イブキジャコウソウ (白花もあり)

Thymus quinquecostatus



エゾノマルバシモツケ

Spiraea betulifolia var. *aemiliana*



このほかにも色々咲いてきます。ほとんどの株に名札を立てています。見学するときは、石を踏んで立ち入っても構いませんが、植栽部分は絶対に踏まないように気を付けてください。

また、石は少し動くものもありますから注意してください。

見られる場所マップ

2020. 5. 2

- ・気温が上がると一気に花が進んで終わってしまう場合もあります。
- ・開花が進んでいる種もありますので見たい方はお早めに。

